

明日を 創る

～建設モノづくりの最前線～



国土交通省

平成26年度 佐久間道路大千瀬川橋PC上部工事

Chubu Regional Bureau

HAMAMATSU発

ものづくりの最前線に
います！ 大千瀬川橋より。



大千瀬川橋は国道474号三遠南信自動車道(佐久間道路)の浦川.I.C.(仮称)の西に位置する大千瀬川上にかかる橋梁です。河川を跨ぐ難工事。川の中に設けた2基の橋脚から、『移動作業車』という装置を用いて、『やじろべえ』のように、それぞれ左右に同じ長さずつバランスを取りながら橋桁を伸ばしていく、『カンチレバー工法』で工事を進めます。



おおいし かずなり
大石 一成

(35歳)

神戸にいた中学生の頃、阪神大震災が発生。当時住んでいた家の裏手にあった阪神高速道路が倒壊するショッキングな被災体験が、社会資本を支える建設業への想いを強きました。

鹿島建設株式会社
横浜支店

風光明媚な溪谷の中、少しずつ伸びていく大千瀬川橋—— 現場で奮闘する若手社員からの生の声をお届けします。

一度は建設業から離れ別の職業に就いたこともありましたが、あの頃感じた達成感や情熱を忘れられず、また現場に帰ってきました。僕は今、この大自然の中、『いいものをつくる』という熱い情熱を胸に、安全に確実に工事を進めるため、厳しい目で施工を管理しています。迷うこともありますが、頼りになる国交省職員の方々、先輩社員、職人さんたちと共に元気にものづくりに励んでいます。





少しずつ橋が伸びることに
達成感を感じ
かみしめています。

この工事は、橋が伸びていく様子が本当によく分かる工事です。1ブロックずつ出来上がって伸びていくと、「出来上がってきたなあ」と達成感とやりがいを感じます。これからの工事で最も楽しみなのは、橋が繋がる瞬間です。



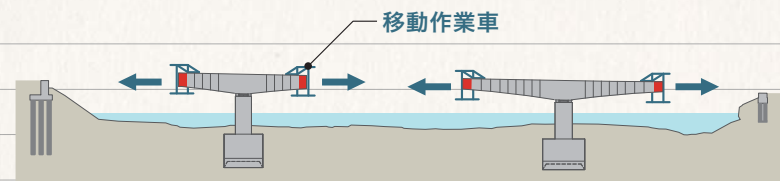
僕の造った、この橋は、
きっと人々の生活を
便利にします。

この工事だけではなく、自分の測量や、施工などで完成した構造物が将来人々に使われて、生活を便利にしていく。ものづくりにこんなにも意義を見出せるのは建設業ならではのと思っています。みんなが橋を渡る未来を描きながら、業務に取り組んでいます。

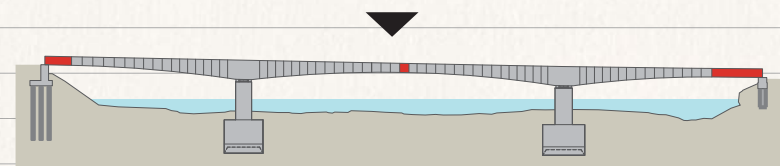


カンチレバー 工法とは？

川の中に設けた2基の橋脚(P1・P2)から、先端部に『移動作業車』という装置を設置し、『やじろべえ』のように、それぞれ左右に同じ長さずつバランスを取りながら橋桁を伸ばしていく工法です。本橋ではP1は17ブロック、P2は15ブロックあり、1ブロックは長さ2.5~4.0mで2週間程度の作業で、この作業を繰り返して工事を進めていきます。



移動作業車を使用して、矢印の方向に順次に橋桁を伸ばしていきます。



カンチレバー工法での橋桁の施工後、移動車の解体を行い、両端と中央をつないで橋桁ができあがります。





シビアだからこそ、
やりがいを感じます。

ひとつひとつの施工にとってもシビアな正確性が求められますが、品質管理は僕に任された重要な任務の一つです。少しのズレもないか厳しくチェックします。自分の判断が最終形に影響を与えると思うと責任重大ですが、だからこそやりがいを感じます。



ひたりの力では決してできない。
チームワークの力は無限大です。

職員と作業員さんとの良い関係は円滑な工事に強く結びついてきますが、この現場ではとてもいい人間関係が築けています。作業員さんはみんな橋のプロ。毎日勉強させてもらっています。



がんばります！



大石一成の夢

色んな現場に行った中で、橋の技術は特殊性が高くとてもおもしろいです。この現場に来たことで、自分の目標がより明確になりました。所長、先輩社員、作業員さんから色んな知識を吸収し、橋のスペシャリストになりたいと思っています。

異色の経歴



実は、バーテンダーをやっていた経験も。お酒づくりはお任せあれ!

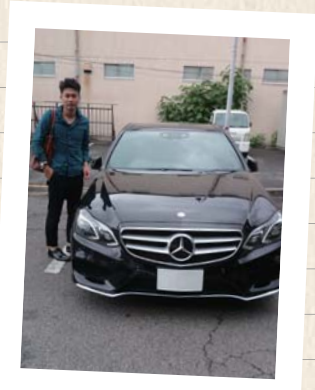
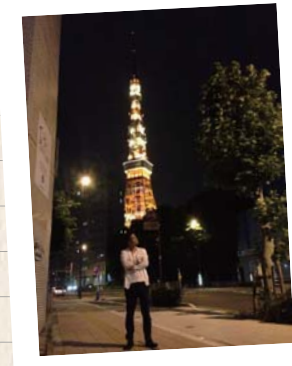


OFFの過ごし方



職員・作業員さん含めた懇親会。苦楽を共にしている仲間と囲む一杯は格別です!

休みには東京へ行くことも!



車大好き。マイカーです! ...と言いたところですが、友人の車です。うらやましくてついパシャリ。

私たちも応援しています!



所長
入倉 英明 (いりくら ひであき/49歳)
ものづくりをする上では、悩んだり立ち止まったりという日もありますが、できあがったときの充実感はいずれを忘れさせてくれます。その日を楽しみに一緒に進んでいきましょう。



工事課長
川岸 誠知 (かわぎし せいじ/45歳)
大石君とはかれこれ6年の付き合いになります。前の現場においても、楽しく仕事をしていたのが印象的でした。大千瀬川橋では今までの経験を生かし【Made by Ooishi】と自信を持って言えるよう、現場の仲間の舵取りを期待します。



工事係
仁藤 由紀 (にとう よしのり/46歳)
橋梁の工事は、細かい計画が多いし、施工精度も要求され日々大変ですが、その分完成した時の達成感と喜びは大きいと思います。大千瀬川橋工事に従事したことを誇りに思えるよう頑張ってください。



工事係
品田 健太 (しなだ けんた/35歳)
現場での仕事においても、また休日に遊ぶ際も、一緒に過ごす時間が多くなると思います。平日は共に汗を流して良いモノを作り上げ、休日は思いっきり遊んで楽しい思い出を作りたいです!



事務
日下部 佳野 (くさかべ かの/24歳)
普段から優しく、お話も楽しく尊敬しています。田舎住まいはなかなか慣れないかと思いますが、めげずに頑張ってください!